

令和6年度 静岡県立浜松大平台高等学校 第4回学校運営協議会 議事録

1 日 時

令和7年1月31日(金) 午前10時00分から12時00分まで

2 会 場

静岡県立浜松大平台高等学校 会議室

3 参加者

学校運営協議会委員 5名 浜松大平台高等学校職員 8名

4 内 容

- (1) 校長挨拶
- (2) 学習発表会視察
- (3) 令和6年度学校評価・質疑応答
- (4) 令和6年度の総括(各委員より)
- (5) その他

ア 令和7年度の委員委嘱について

イ 令和7年度第1回学校運営協議会予定について

委員より

学習発表会について

- ・後輩に先輩のやっていることを見せることは必要である。
- ・人に伝えられる指導をしてほしい。
- ・キャリアやアイデアを通じて、将来を見据えた発表は良かった。
- ・研究内容は、素朴なことで良い。
- ・発表に固さが見られた。場を温める双方向のプレゼンが必要。
- ・多様な発表が見られてよかった。
- ・好きなことを見つけて、将来を見据える良さがある。

総括

- ・毎回の会議で、評価を少しずつ記録して残しておけると総括が楽になるのではないかな。
- ・授業がわかる・信頼できる先生がいるという割合が高いのは良い。継続してほしい。
- ・災害は、いつでもどこにいても起こる。その時に自分がどんな役割を担えるのかを知るのが大切。防災教育の継続を望む。
- ・PCやタブレットの1人1台端末の貸与については、個人学習向上を意識すれば個人持ちの方が良い
- ・挨拶はした方が良い。社会的風潮なのか、挨拶する子が減った気がする。家庭教育の一環かもしれないが、挨拶できるように学校が舵取りできれば良い。
- ・以前と比べれば、自転車通学のマナーは良い。
- ・挨拶は、半分ぐらいはできている。
- ・浜松大平台高校がどのような学校なのかが理解できた。
- ・自転車で車道を走行してしまうのは、歩道の整備が行き届いていないため走行しやすい車道に出てしまう。
- ・個性を大事にした経験を積める学校と認識している。
- ・将来の夢や希望を持つ生徒の割合が、もっと高くても良いのではないかな。